

はじめに

滝沢市自治会連合会は、昭和46年に発足し、以来、住みよい地域づくり、安全・安心な地域づくりのため様々な地域課題の解決に取り組み、創立50周年を迎えました。

この記念すべき年にあたり、これまで歩んできた足跡をたどり、本会の果たす役割を再確認するとともに、今後の市民主体の地域づくり活動の方向を展望するため、自治会のあり方検討部会を設置しました。この部会では、約10か月にわたり、意見交換や議論を重ね、このたび、これからの自治会の姿を取りまとめた「提言書 ～これからの自治会のあり方～」をまとめました。

自治会は、地域において人と人とのつながりをつくり、そのつながりを持った住民が連携・協力しながら、地域の様々な課題を解決するための組織です。

近年、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、人と人のつながりを維持することが難しい状況が続いていますが、本会の提言が契機となり、それぞれの地域の特性、世帯規模や社会環境に応じた「住み良い地域づくり」が持続することを期待するものです。

結びに、本提言書を発行するにあたり、ご協力いただいたすべての皆さまに心から感謝申し上げます。

令和4年3月31日

滝沢市自治会連合会
会長 下田 富幸